



Transform— ITのチカラで、未来を変えよう。

INFORMATION

ITの可能性を、未来の可能性に。——

■ 経営理念

ビジョン

社会、お客様、株主、社員と
感動を共有し、信頼されるグローバルな
ベスト・サービスカンパニーを目指します。

行動規範

- ・自らマインド
自ら考え、行動します。
- ・JBグループ行動基準
社員一人ひとりが法と社会のルールを守り、
良識を持って行動します。

CSR 基本理念

JBグループは
ベスト・サービスカンパニーとして、
よき企業市民を目指し、社会および
環境との調和を図ります。



JBCC株式会社 (JBCC)
 JBサービス株式会社 (JBS)
 JBアドバンスト・テクノロジー株式会社 (JBAT)
 株式会社シーアイエス (CIS)
 株式会社ソルネット (SOLNET)
 ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社 (GBS)

株式会社アイ・ラーニング (i-Learning)
 C&Cビジネスサービス株式会社 (C&CBS)
 JBパートナーソリューション株式会社 (JBPS)
 佳報(上海) 信息技术有限公司 (JBCN)
 JBCC(Thailand)Co.,Ltd. (JBTH)
 JBSG PTE. LTD. (JBSG)

ベスト・サービスカンパニーを目指します

現在、あらゆるもののデジタル化が急速に進んで
います。クラウド、IoT、AI、セキュリティ等のデジ
タル技術が相互につながり、ITが企業活動や私
たちの生活、社会、経済を大きく変えてきています。

JBグループは、1964年の創業以来2万社を超
えるお客様にITの利活用を提案してまいりました。
これらの経験と実績を活かし、あらゆるもののデ
ジタル化への対応をさらに推進し、未来に向けて、
お客様の成長を支援してまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い
申し上げます。



JBCCホールディングス
代表取締役社長

山田 隆司

ブランドシンボルの意義
“知性”と“情熱” JB group

赤=社員の強い情熱
 グレー=IT企業として必要な知性
 JとBの一体化=お客様や社会、パートナーとの「繋がり」を想起
 J上部の丸いポイント=「個人の人格の尊重」や「自立した姿勢」を表現
 全体=「信頼感」あるイメージで構成

これまでも、これからも。お客様や社会とともに ...

JBグループは以下の事業分野でビジネスを展開しています。
お客様の経営や業務の課題を解決するためのソリューションやサービスにより、
最適なITの利活用を推進しています。

情報ソリューション Information Solutions

IT活用に関するトータルサービス（コンサルティング、アプリケーション開発、システム開発、運用、保守、監視、アウトソーシング等）の提供を行っています。

JBCC株式会社

JBサービス株式会社

株式会社シーアイエス

株式会社ソルネット

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社

株式会社アイ・ラーニング

JBパートナーソリューション株式会社

佳報（上海）信息技术有限公司

JBCC(Thailand) Co., Ltd.

JBSG PTE. LTD.

製品開発製造

Product Development and Manufacturing

JBグループならではの
ソフトウェアソリューション、プリンティングシステム、
セキュリティ関連ソリューション等の開発・提供の他、
お客様の要望に応じた最適なハードウェアの提供を行っています。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社

シェアード・サービス

Shared Service

グループ内の業務の重複を避け、効率のよい運営を目指して、
人事・総務、経理・財務、情報システム、業務サービス（支援・管理）等の
各種スタッフ業務を集約して行っています。

C&Cビジネスサービス株式会社

■ 沿革

第1の創業

1964

自社ブランドの確立

- 1964年 4月 日本ビジネスコンピューター株式会社設立
- 1964年 4月 超小型コンピューターの先駆けとなるTOSBAC-1100Dを開発、販売
- 1977年10月 日本で初めて漢字処理ができる「システム-1 漢字」を開発、販売
- 1982年 4月 CI導入、新ブランド名を「JBCC」とする
- 1982年 5月 意思決定支援システム「JUSMATEシリーズ」を開発、販売
- 1983年 3月 日本アイ・ビー・エム販売株式会社と販売提携し、「IBMマルチステーション5550」を販売
- 1983年 3月 日本初のネットワーク分散処理システム「C-200」を開発、販売



システム-1 漢字

第2の創業

1983

日本IBMのパートナーとしてビジネス基盤を強化

- 1983年 8月 日本アイ・ビー・エム株式会社と資本・業務提携
- 1999年 7月 運用センター（SMAC）を開設
- 1999年10月 株式を東京証券取引所市場第二部へ上場
- 2000年 9月 株式を東京証券取引所市場第一部へ上場
- 2004年 1月 ISO140001取得（横浜事業所）
- 2004年11月 JBCCヘルスケア・コンソーシアム（JBHC）を設立



運用センター SMAC
(Solution Management and Access Center)

第3の創業

2006

さらなる成長に向けてホールディングス体制に移行

- 2006年 4月 純粋持株会社としてJBCCホールディングス株式会社スタート
- 2008年11月 中国大連市に拠点を設立しアジア地域へのビジネスを開始
- 2009年10月 クラウド・インテグレーションセンター（検証センター）を開設
- 2011年 7月 プリンターサプライに特化した法人向けECサイト「サブライズバンク ドットコム」を開設
- 2014年 4月 創立50周年
- 2015年10月 お客様に最適なクラウドサービスを提供するために、コンソーシアム「俺のクラウド倶楽部」を設立
- 2016年 6月 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行



「俺のクラウド倶楽部」設立趣旨
・各社の知見や技術を融合した新しいサービスの創出
・新たな市場（LOB）とチャネルの開拓
・会員の皆様と共に成長し、オンリーワンビジネスを確立

環境の変化に柔軟に対応、最適なソリューションでお応えします

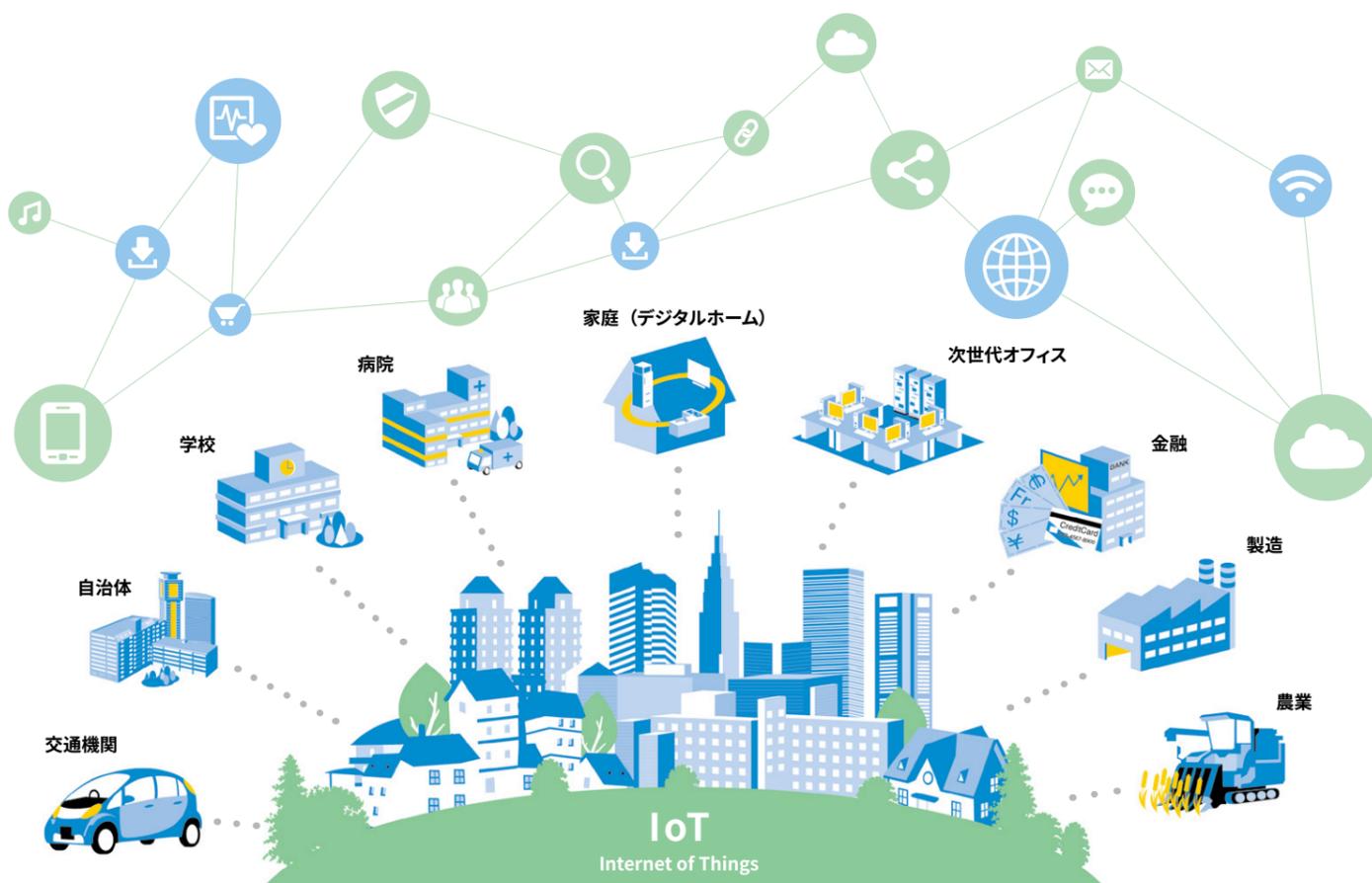
今やITは、企業経営への役立ちのみならず、生活のあらゆる場面に利用され、社会になくはならないものになっています。

スマートデバイス、ウェアラブル、センサー、カメラ等、あらゆる“モノ”がインターネットにつながるIoT (Internet of Things) は検討から実用化の段階へ。

さらにAI (人工知能)、ロボットの活用等、生活やビジネスの様々な場面でデジタル化が進んでいます。

JBグループは、クラウドを中心としたIT活用を具体的に提案するとともに、

IoTや新しい技術を活用し、お客様と共に、未来につながる仕組みづくりを進めています。



JBグループが推進する分野

- SIサービス
- JBソフトウェア
- 3D
- クラウド
- セキュリティ
- ヘルスケア
- 人財育成

■ クラウド 【企業のデジタル化を推進】

「俺のクラウド」の総称のもと、ビジネスのベースとなるクラウド環境を運用、提供しています。様々なクラウドサービスと、IoTや新しい技術を活用して、ビジネスのデジタル化を推進し、企業の成長を支援します。



クラウドをベースに3つの領域でデジタル化を推進します。

■ SIサービス 【変化に柔軟なシステム開発】

利用する立場に立った最適なシステムをお客様と共に考え、提案、構築します。システムの利用用途に応じて、クラウドネイティブの開発手法や高速開発を組み合わせ、素早く、変化に柔軟なシステム開発を実現します。

■ セキュリティ 【安全なシステム運用を支援】

企業の情報資産を狙い、高度化するサイバー攻撃に対し、「OPTi Secure」の総称のもと、セキュリティの運用サービスを提供しています。お客様それぞれの要望に応じて最適なサービスを組み合わせ、安全なシステム運営と企業の事業継続を支援します。



※ NIST (国立標準技術研究所) のセキュリティ標準をベースにした5ステップに基づいたサービスを提供します。

■ JBソフトウェア 【独自のサービスを創出】

永年培ってきたハードウェアとソフトウェアの開発技術を活かし、業務アプリケーションや独自のソリューションを開発・提供しています。クラウド、IoT、ロボット等の新しい技術への取り組みも推進し、お客様に役立つ、今までにない新しい価値の創出を目指します。

■ ヘルスケア 【地域包括ケアシステム実現に向けて】

2004年に設立したJBCCヘルスケア・コンソーシアム (JBHC) の会員企業と連携し、電子カルテ/医療会計を中心に、「地域包括ケアシステム」の実現に向けたソリューションの展開を進めています。地域連携・往診・在宅診療など必要なニーズをITを活用してつなぎ、医療サービスを安心して受けられる社会の実現を目指しています。



JBCCと医療・ヘルスケア分野に関連した優良企業が設立した企業連合。単独では解決できない医療機関全般の課題に対し、総合的に対応しています。http://www.jbhc.jp/

■ 3D事業 【3Dの利活用を総合的に支援】

3Dプリンターはその技術・精度の向上、利用できる造形材料の多様化により、研究・開発機関での検証や試作を目的とした利用から、最終製品を生み出す生産機械へと、活用分野が広がっています。3Dプリンターの販売・保守だけでなく、新たなソリューションの提供や技術者の教育・育成にも取り組んでいます。



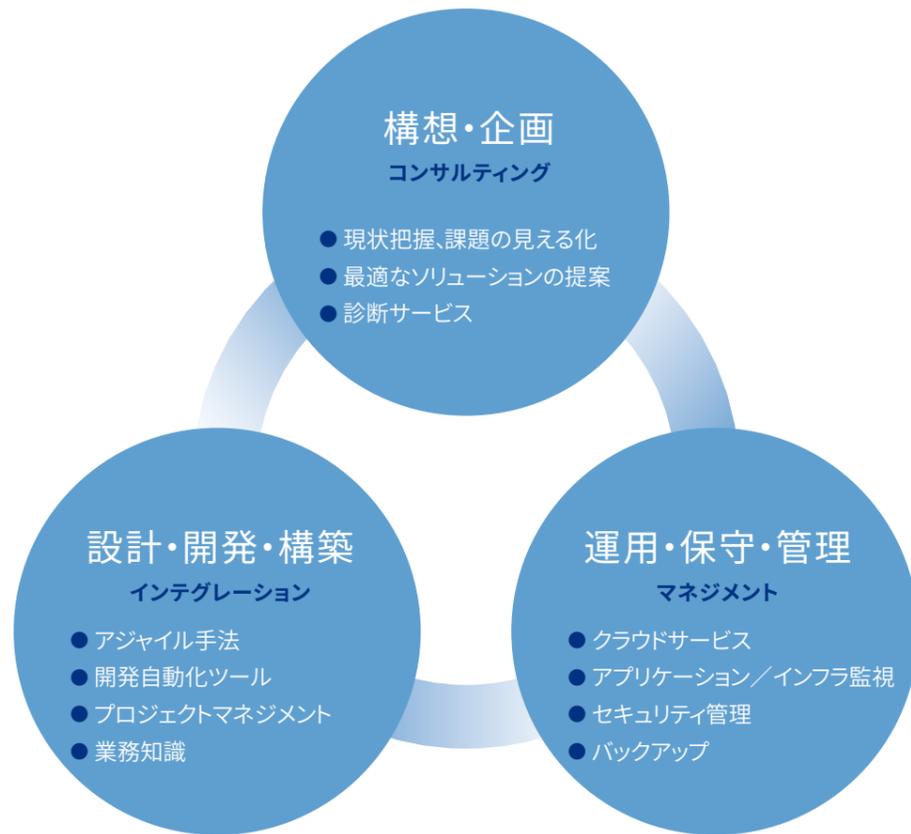
ワンストップでITと連動した3D活用を提案・支援します。

■ 人財育成 【未来を担う人財の育成】

ビジネスのデジタル化が進む中、取り巻く環境の変化、技術の進化に対応できる人財が求められています。企業の新人/階層研修のみならず、これからの未来を創る人財の育成に取り組んでいます。

企業の成長をワンストップで支援します

2万社以上の様々な企業のIT活用を支援してきた経験と実績をベースに、コンサルティングから設計・構築、運用・保守まで、お客様のライフサイクルを見据えたソリューションをトータルに提供しています。



構想・企画

経営／業務／ITの課題を見える化し、IT活用が効果を生む箇所の抽出、最適なソリューションの提案へと具体化しています。

設計・開発

業務知識、プログラム技術、マネジメント力を結集し、お客様のニーズに即したシステムを構築しています。アジャイル開発手法とツールの採用により高速開発を可能にし、高品質で高いシステムの構築を実現しています。

また、クラウドネイティブな（クラウドでの運用を前提にした）開発も推進しており、新しい技術を活用し、お客様に最適なシステムの構築に取り組んでいます。

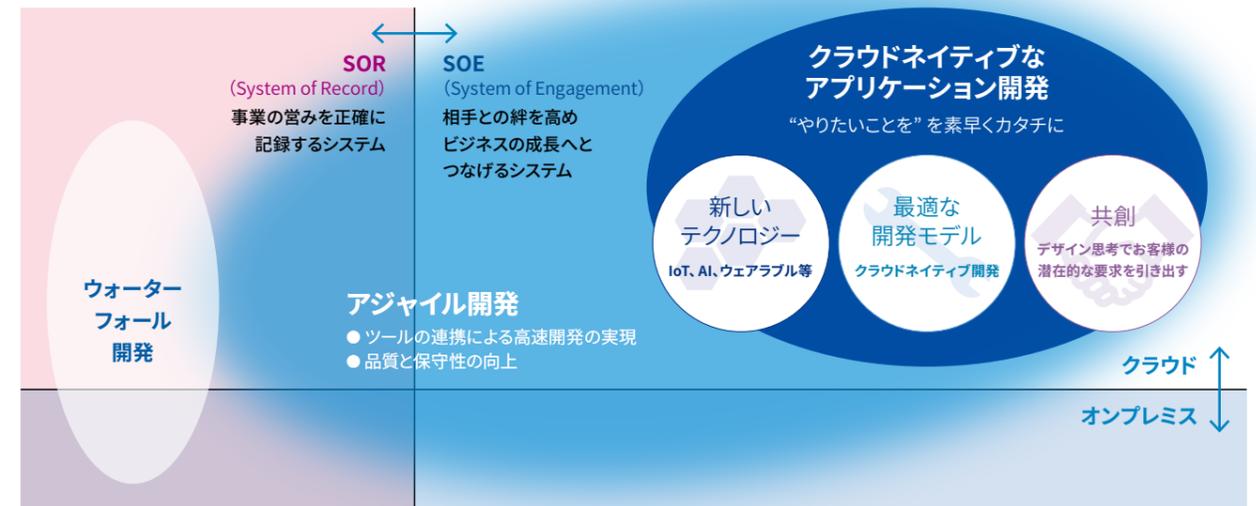
運用

企業のクラウド活用が進む中、お客様毎に最適なクラウドサービスの提供の他、クラウド運用監視センターCLIC (Cloud Innovation Center) では、クラウド利用手続きの代行から、稼働監視、バックアップ、設定変更など、クラウドの運用をトータルで支援し、安心・安全なクラウド環境を提供しています。

また、運用センターSMAC (Solution Management and Access Center) では、高度化するサイバー攻撃に対し、セキュリティに特化したSOC (Security Operation Center) 機能を強化し、クラウド環境でのセキュリティ対策サービスの拡充を進めています。

お客様の要望に応じた最適なシステム開発

システムの上流工程から順番に作業を進める従来型の開発モデルから、技術の進化やお客様の要求に柔軟に対応できるアジャイル開発への変革を実践しています。また、利活用が進むクラウドサービスやIoTを活用した新しいシステム構築にも取り組みを進め、それぞれのシステムに適した技術で、最適なシステムの提案・構築を実現しています。



高速開発 ～ツール連携による開発・保守品質の向上

システムの開発の上流工程における設計情報を一元管理し、開発へつなげる「XupperII」と、設計情報からプログラムのコードを自動生成する「GeneXus」の連携で、アジャイル開発を実現。お客様の意思確認と、要求に対する柔軟な対応が可能で、開発の手戻りを抑えます。

設計情報（お客様の要求）と、実装（システム）を一致させ、短期間の開発で、品質を確保し、保守コストを削減したシステムの構築に取り組んでいます。

ウルグアイ東方共和国で開催された、GeneXus国際ナショナル「GX26」（2016年9月）において、アプリケーション高速開発ツール「GeneXus」の開発元であるGeneXus S.A.より、日本におけるGeneXus利用者拡大への貢献を評価され、JBCCが表彰されました。



“早い段階”で“要求内容”を“動くシステムで確認できる”
アジャイル開発を実現

上流工程 **XupperII**
業務要件（業務のやり方・流れ・必要な情報）をナレッジ化し、高いユーザビリティでコミュニケーションの質を向上する XupperII



下流工程 **GeneXus**
要求・設計から迅速なアプリケーション構築を可能にする GeneXus

クラウド&セキュリティで最適なIT活用を 支援します

■ 情報と人をつなぎ、お客様の成長を支援

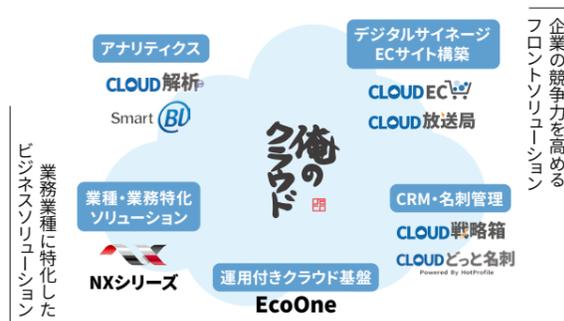
“所有から利用へ”。自社でサーバーやシステムを所有せず、手軽に利用でき、機能拡張や利用者拡大にも柔軟に対応できるクラウドの利活用が進んでいます。さらに、クラウドをベースにIoTを活用し、膨大なデータを解析して価値ある情報としてシステムで活用することで“モノと人”、“情報と人”をつなぎ、ビジネスの可能性を広げ、お客様の成長を支援します。



Ecoシステムでクラウドサービスを提供 — 俺のクラウド

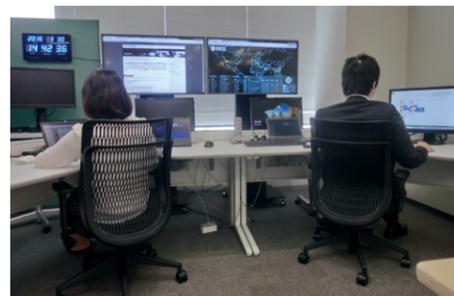
お客様に最適なクラウドサービスを提供するため、「俺のクラウド倶楽部」を2015年10月に設立しました。業種・業務に特化したソリューションやクラウドセキュリティに知見を持つパートナー企業のソリューションをEcoシステムで連携し、お客様に最適なクラウドサービスを提供しています。

※ Eco システム ……企業がパートナーシップを組み、互いの技術を活かして連携し、価値あるサービスを提供・互いに発展していく仕組み。



安心・安全なクラウドの運用を支援

「俺のクラウド」では、運用付きクラウド基盤「EcoOne」を提供しています。誰もが気軽にクラウドサービスを利用できるよう、手続きの代行から、設計、構築、運用まで、トータルにサポートしています。サーバー監視、データのバックアップ、設定変更などの日常の運用に加え、セキュリティ対策にも対応し、安心・安全なクラウド環境を実現しています。



クラウドの運用をトータルで支援する
クラウド運用監視センター-CLIC (Cloud Innovation Center)

■ 24時間365日のシステム運用を支援

クラウドやモバイルの活用が進み、企業のシステム運用や働き方の利便性が高まる一方、セキュリティの領域は広がり、求められる対策も多様化しています。運用センターSMAC (Solution Management and Access Center) では、24時間365日体制でお客様のIT環境を監視すると共に、セキュリティ技術の強化にも取り組み、クラウドも、オンプレミスも、お客様の安全・安心なシステム運用を支援します。

統合セキュリティ運用サービス「OPTi Secure」



東京、大阪のSMACにセキュリティに特化した運用監視センターSOC (Security Operation Center) 機能を追加し、標的型攻撃への対応やマルウェアの分析等、セキュリティ技術の強化に取り組んでいます。

JBグループのセキュリティ統合ブランド「OPTi Secure」は、SOCをベースに、セキュリティ対策の基本となる5ステップ (特定・防御・検知・対応・復旧) に基づいた各種セキュリティサービスを取り揃え、お客様ごとに最適なサービスを組み合わせ提供しています。

ブランドロゴについて
「OPTi Secure」の頭文字「O」と「S」をつなぎ、「盾」と「地球 (サーバー空間)」を表したデザインで、サイバーセキュリティを表現しています。



運用センター SMAC (Solution Management and Access Center)

- ITインフラ運用サービス
ネットワーク、サーバー、ハウジング、ホスティング等
- セキュリティ運用サービス
サイバー攻撃に対応する各種サービス提供
- IoT運用サービス
太陽光発電設備や3Dプリンター等、IoTを活用した運用支援
- ヘルプデスクサービス
- コールセンターサービス

※ 運用センター SMAC は、2つの国際規約の認証を取得し、ITIL 準拠の高品質なサービス提供と情報セキュリティレベルの維持・向上に取り組んでいます。このような高品質な IT 運用と情報セキュリティを兼ね備えた体制を東京・大阪2箇所のSMACで二重化し、災害時等でもお客様の事業継続を支援します。



[認証取得] SMAC 東京/大阪、中部/西日本サービスデスク

IT サービスマネジメント

情報セキュリティマネジメント



JQA-IT0030



JQA-IM0148

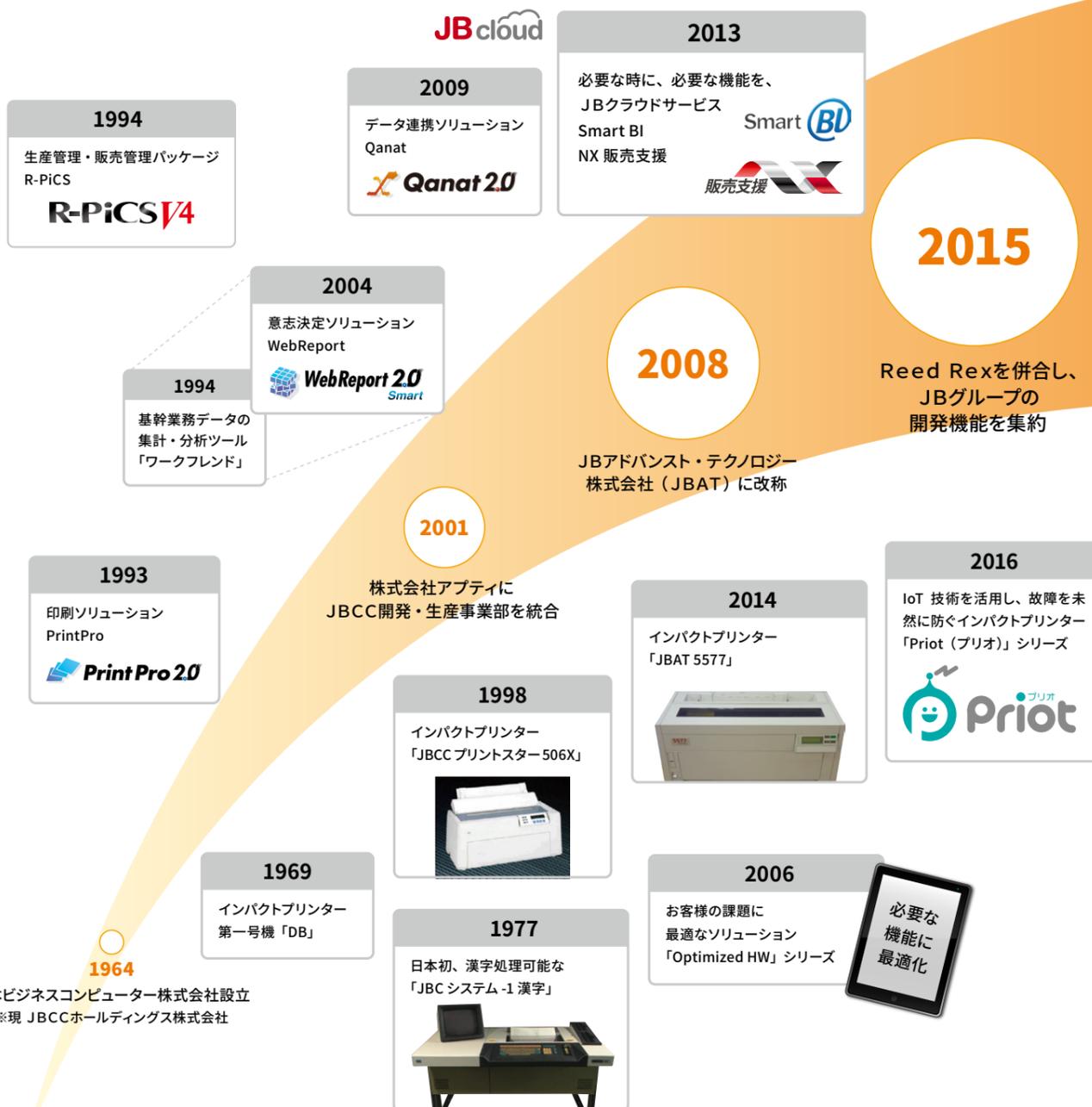
お客様の声をもとに、JBグループならではのソリューションを開発します

プリンター等のハードウェアと、意思決定・情報連携・プリンティング等を支援するソリューション、ERP等の基幹業務アプリケーションを開発、提供しています。

お客様の“声”を反映して機能強化・改善を継続し、共に製品を成長、発展させ、お客様に役立つ製品・サービスを提供しています。

最新技術を活用し、新しい価値を創造し続けます

ハードウェア/ソフトウェアの開発技術と最新のクラウド技術を結集し、クラウドをベースに多種多様なデータを融合して、利用したい形で活用できる「データ活用クラウド基盤」を開発、サービス提供しています。クラウド活用、IoT、AI（人工知能）等、独自の優れた技術を持つパートナー企業と連携し、今までにない新しい価値を共に創り出し、お客様のビジネスの拡大と成長を支援します。



先進技術研究所の取り組み

先進技術研究所では、これまでの経験に、新たな技術を取り込み「気づき」を具現化することに取り組んでいます。近年は、クラウドをベースにIoT、AI（人工知能）、ロボット等も研究テーマとして取り組み、ビジネスへの活用の検討も進めています。



Pepper ロボアプリ開発における知識や技術力を持つ企業としてソフトバンクロボティクス社の「Pepper パートナープログラム」より「ロボアプリパートナー(Basic)」の認定を受けました。

認定ID: PPP201701008

また、外部の技術コミュニティ、コンソーシアム等に継続的に参加して情報交換や最新技術への知見を深めると共に、グループ内でも「技術者情報連絡会」や「JBグループ OSS (オープンソースソフトウェア) コミュニティ」を立ち上げ、技術情報の発信と共有を実践しています。単独では難しい技術検証も、チームでアイデアを出し合って取り組むことで、技術者間のコミュニケーションを活性化し、将来の技術リーダーとなる人材の育成と、グループ全体の技術力向上に努めています。



先進技術研究所の研究室イノベーション・ラボ (Innovation Lab)



JBグループ OSS コミュニティ 「OSSを見て、さわって、本当に使ってビジネスへの利用を考える」を合言葉に、200名以上が参加



技術者情報連絡会 最新技術動向の共有と、技術者間のコミュニケーションを目的に開催

様々な活動に取り組んでいます

CSR基本理念

JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

CSR実施方針

- (1) 法令・規制を遵守し、お客様との約束を守り、高水準の倫理を保つ。
- (2) 常に最新のITに挑戦し、自らマインドによる開発、自社活用、お客様への提案・提供により、日本のIT活用の促進に貢献する。
- (3) グローバルな視野を持つよき企業市民として、社会への貢献、環境保全活動を積極的に行う。

JBグループでは、「事業活動を通じた活動」、「企業市民としての活動」、「企業倫理・社会的責任遵守活動」の主に3つの分野で活動しています。

事業活動を通じた 社会貢献活動

- クラウドやサーバー統合、仮想化などお客様に最適なシステム提案
- セキュリティ対策への取り組み
- 3Dプリンターの新たな活用を創出 など



鎮守の森のプロジェクト
植樹・育樹活動

企業市民としての 社会貢献活動

- 被災地支援
「鎮守の森のプロジェクト」「福島応援隊」
- 環境活動
緑化活動、ISO14001、「COOL CHOICE」/「Fun to Share」への参加
- 障がい者支援
関東車椅子バスケットボール連盟オフィシャルパートナーなど



ホルチン砂漠(中国モンゴル自治区)
緑化活動

企業倫理・ 社会的責任遵守活動

- JBグループ内部統制方針
- JBグループ行動基準
- JBグループ環境方針
- 社会的責任 - 雇用拡大(女性、障がい者、高齢者)
 - ポジティブ・アクション宣言(企業における女性活躍推進の取り組み)
 - ポジティブ・オフ宣言(ワーク・ライフ・バランス実現への取り組み)

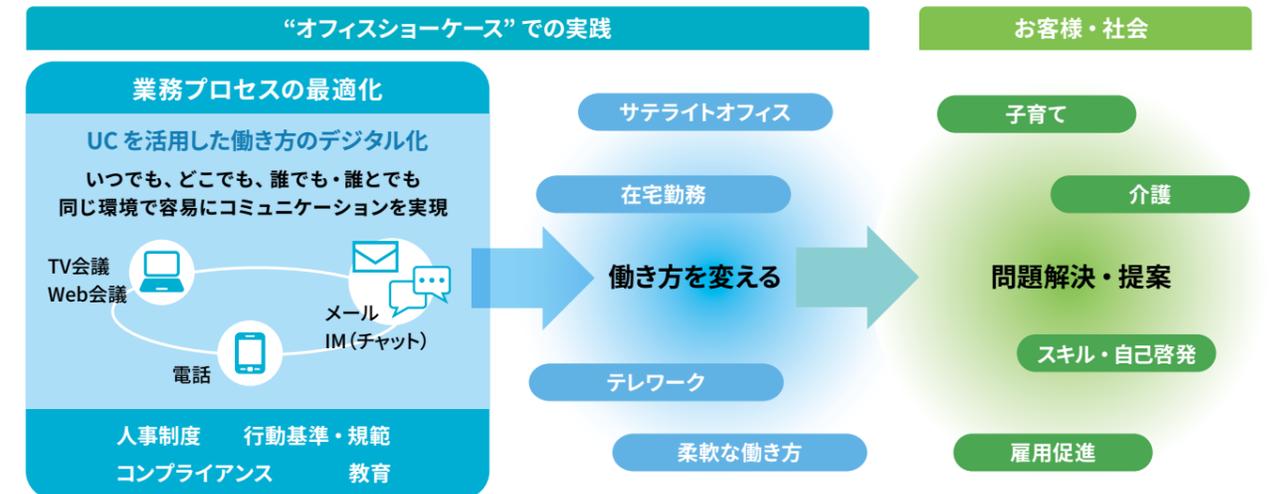


車椅子バスケットボール大会
大会運営支援

“オフィスショーケース”を通じて、お客様や社会に役立つIT活用を具体的に提案

お客様の経営、IT活用の課題を解決するため、各種ソリューションを組み合わせ、“ショーケース”としてJBグループで導入・展開し、お客様への具体的な提案のみならず、社会の問題解決を目指しています。昨今の働き方の多様化を背景に、柔軟な働き方の実現を目指し、テレワークの導入など、ITを活用したワークスタイルの変

革を進め、2016年5月からグループ各社でユニファイドコミュニケーション(*)を導入しました。時間や場所を選ばず、安全で効率的なコミュニケーションを実現すると共に、実際の導入・運用で経験したノウハウを活かし、働き方やビジネスを変革する新しいITの活用を、グループの総合力を活かしてトータルに提案しています。



*ユニファイドコミュニケーション…UC:様々な通信や伝達手段を連携・統合して提供するシステムやサービスの総称

次代を担う人財を支援

JBCCホールディングスでは、“理系的発想力を問う文学賞”として、未来を刺激する圧倒的な想像力とアイデア、その先にある物語を競う、日経「星新一賞」のコンセプトに賛同し、2014年の賞設立から継続して協賛しています。第4回の応募(2016年9月末締切)では、一般部門の他、学生部門/ジュニア部門でそれぞれ、30年後/100年後の未来を創造した若い発想力にあふれた作品を募りました。(日経「星新一賞」公式サイト:<http://hoshiaward.nikkei.co.jp/>)



また、ITに取り組む若者たちの育成を目的に設立されたNPO団体「ITジュニア育成交流協会」にも2017年4月から協賛しています。ITコンテストの支援を通じて、ITを活用したものづくりの楽しさを伝え、次代を担う人財を支援しています。

CSRレポート発行

2012年度より、毎年のJBグループCSR活動を1冊にまとめた、CSRレポートを発行しています。詳細はホームページよりご確認ください。
<https://www.jbcchd.co.jp/csr/report/>



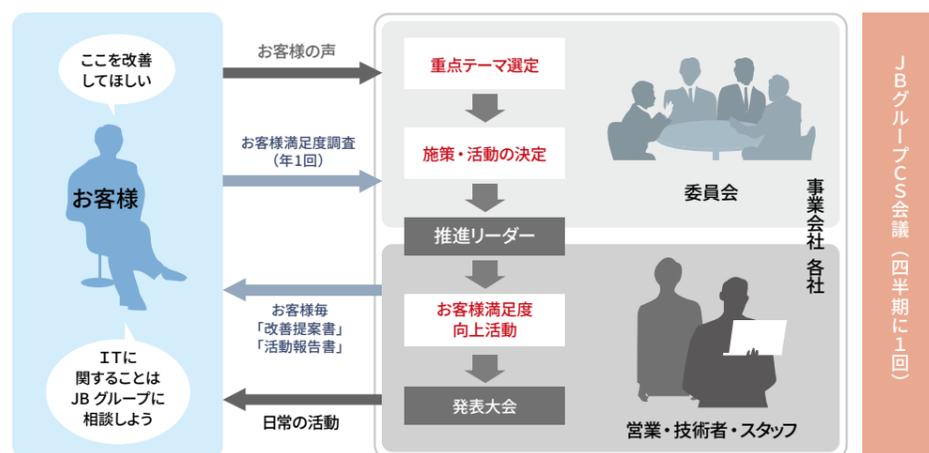
信頼される企業グループを目指して

JBグループは、お客様の経営課題を解決し、企業の成長を支援するIT活用をお手伝いしています。
お客様に信頼され、ITに関するあらゆることを任せられるパートナーとして認めていただけるように努めています。

■ お客様の声を伺い、活動に展開

日常の活動でお客様が抱える課題や要望を理解すると共に、お客様からの評価やご意見を伺う「お客様満足度調査」を毎年実施しています。

お客様の声を日々の活動の質や、サービス品質の向上、業務改善などに反映し、お客様により一層ご満足いただけるよう、継続した改善活動を行っています。



全員参加の「CS活動」を実施

「お客様満足度調査」の結果や日頃のお客様の声をベースに、全職種のメンバーが連携して、業務に密着したCS活動を実施しています。
活動はPlan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)のサイクルで継続的に行い、活動内容をグループ内で共有・展開しています。

※ CS: Customer Satisfaction (お客様満足)

「CS活動」のベースとなるES

お客様満足を実現するためには、ESが不可欠と考え、「社員満足度調査」を毎年実施し、プロフェッショナルの育成や働きやすい職場環境の実現等を具体的に行っています。

※ ES: Employee Satisfaction (社員満足)

CS&ES 活動発表会を実施

お客様満足とそれを支える社員満足の向上を目指して、日頃の業務を見直し、その改善活動を事業会社ごとに実施しています。
毎年度末に、グループでの活動発表会を実施しており、各事業会社から選出されたチームが1年間の活動のポイントや成果を発表し、共有しました。



■ JBグループを理解いただくために

JB Group IT Forum

毎年春に、各分野でリーダーシップを持つ協賛パートナー各社とJB Group IT Forumを開催し、未来につながるIT活用を、セッションや展示を通じて情報を具体的に紹介しています。
東京、名古屋、大阪の3カ所で開催し、基調講演にはIT分野のみならず、経済や文化など、幅広い分野で活躍される講師をお招きしています。



展示会場



基調講演

IR活動

お客様のみならず、投資家の皆様にもJBグループをご理解いただくために、決算説明会や個別面談とともに、東京証券取引所や日本経済新聞社主催のIRイベントにも継続的に参加しています。定量情報のみならず、業界動向や注力分野等についてもわかりやすくご紹介しています。
また、ホームページにも専用のコーナーを設けてビジネス状況をお伝えしています。

※ IR: Investor Relation



個人投資家向けIRイベント 出展ブース

情報提供

各種ソリューションや導入事例など、お客様に役立つ情報をホームページやソーシャルメディアでタイムリーにお知らせするとともに、JBグループ情報誌などでも詳しくご紹介しています。
グループ各社主催のセミナーでは最新ソリューションや導入事例・効果について、より具体的にご紹介しています。



JBグループ情報誌Link

経営層を主な読者対象として、IT活用のみならず文化・教養に関する情報をご紹介

電子書籍 <http://www.jbgroup.jp/link/>



ソーシャルメディア
Facebook
<https://www.facebook.com/jbcchd>
Twitter
<https://twitter.com/jbcchd>

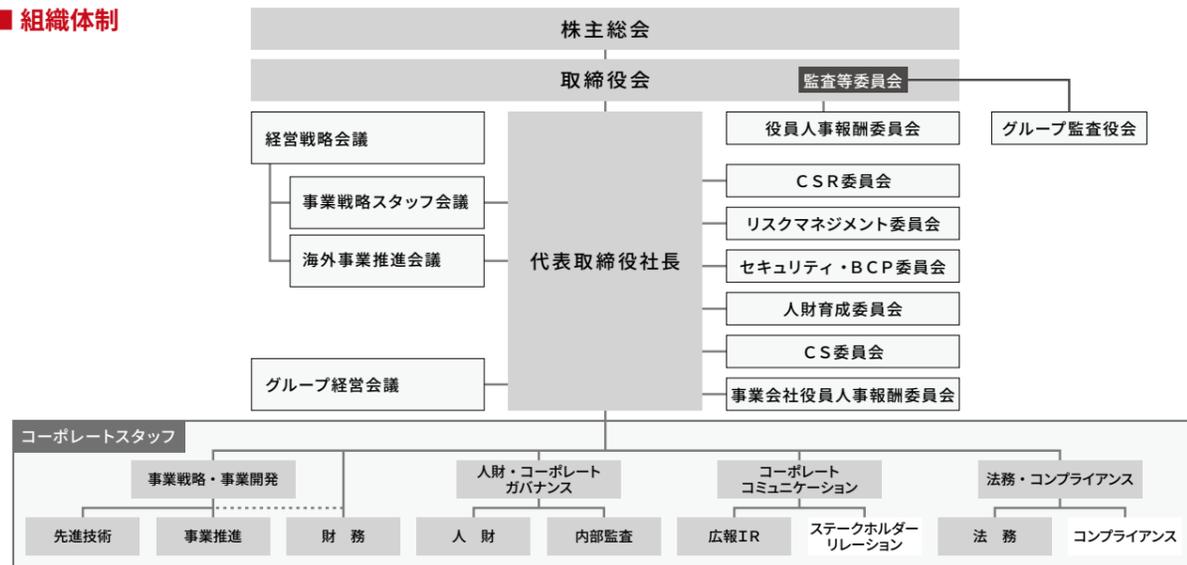
■ 会社概要

社名	JBCC ホールディングス株式会社
英文名称	JBCC Holdings Inc.
URL	https://www.jbcchd.co.jp/
設立	1964年4月1日
所在地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア15F
資本金	4,687百万円
グループ社員数	2,426名(有期社員231名を含む) 2017年4月1日現在
事業内容	純粹持株会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9889)
会計監査員	あらた監査法人
拠点数	国内：54拠点(委託事業所13拠点含む) 海外：5拠点(中国・タイ・シンガポール)

■ 役員

代表取締役社長	山田 隆司
代表取締役	東上 征司
取締役常務執行役員	一木 一夫
	谷口 卓
	三星 義明
取締役	高橋 保時
	長谷川 礼司 (社外)
	田邊 雅章 (常勤)
取締役監査等委員	今村 昭文 (社外)
	齊藤 紀夫 (社外)

■ 組織体制



■ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

JBグループの経営方針は、(1) 透明性の高いグループ経営、(2) 企業価値の増大、(3) 日本のIT活用促進に貢献の3つであり、ステークホルダー(お客様、株主、取引先、社員、社会)に対し、常に最高の価値を提供し、企業価値を継続的に向上できるよう努めています。詳細はホームページよりご確認ください。 <https://www.jbcchd.co.jp/ir/management/governance/>

体制

2016年6月に監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。移行により業務執行と監督の分離を進め、ホールディングス体制のもと、より迅速な意思決定の実現を図ります。また、社外取締役が過半数を占める監査等委員会により、取締役会の監督機能を一層強化することで、コーポレートガバナンスの実効性を高め、企業価値の実現を目指します。

コンプライアンス

コンプライアンス経営を徹底し、役員および社員の意識づけを図るために「JBグループ行動基準」を制定しています。この指針をベースとした実践を通じて高い倫理観を共有し、広く社会から信頼される企業体となるよう努めています。

情報ソリューション (国内)

変革と成長に貢献し続けるIT活用を提案

クラウドサービスやシステムの開発・運用を通じ、将来にわたりお客様のビジネスの成長を支え続けるITを、幅広い業種のお客様1社1社に、最適な形で提案し、圧倒的なスピードで対応しています。

JBCC株式会社

代表取締役社長：東上 征司
社員数：1021名 / 設立：1988年4月1日
URL：<http://www.jbcc.co.jp/>



IT・セキュリティに関する監視・運用・保守サービスを提供

運用センター SMACと全国のサービス拠点をベースに、IT・セキュリティに関する監視・運用・保守サービスを提供。医療分野・3D分野などにもサービスの領域を拡大しています。

JBサービス株式会社

代表取締役社長：三星 義明
社員数：317名 / 設立：2007年4月2日
URL：<https://www.jbsvc.co.jp/>



中部地区に密着してお客様のIT活用を支援

中部地区での経験と実績を活かし、主にもづくり支援(PLM)、バックオフィス業務構築(会計・人事/給与など)、セキュリティの各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社シーアイエス

代表取締役社長：福田 弘
社員数：102名 / 設立：1982年2月
URL：<http://www.cisjp.com/>



九州、中国地区に密着してお客様のIT活用を支援

九州、中国地区のベスト・ソリューション・パートナーとして製造業・プラントエンジニアリング業・情報通信業・公共・医療のお客様を中心に、幅広い業種・業務に各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社ソルネット

代表取締役社長：長浜 好数
社員数：161名 / 設立：1967年2月3日
URL：<http://www.solnet-dot.com/>



基幹システムと最新 Web テクノロジーの融合を支援

SI事業、HRS事業を軸に、日本IBM、NTTデータ、イントラマートなどの企業と連携し、基幹システムと最新 Web テクノロジーを融合したシステム構築/運営を支援しています。

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社

代表取締役社長：内海 弘之
社員数：78名 / 設立：1993年6月29日
URL：<https://www.gbs.co.jp/>



人財育成を支援する幅広い研修サービスを提供

次代を担う人財育成を支援する企業として、人財開発研修、営業研修、IT研修、PM研修、IBM製品研修など、企画から開発・実施まで、豊富な研修サービスを提供しています。

株式会社アイ・ラーニング

代表取締役社長：片岡 久
社員数：63名 / 設立：1990年2月1日
URL：<http://www.i-learning.jp/>



情報ソリューション (海外)

海外に進出するお客様のIT活用を支援

現地でのIT総合窓口として、ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達/ITシステムの設計/構築から運用までワンストップで支援しています。

佳報(上海) 信息技术有限公司

董事長・総経理：久保 亨
社員数：11名 / 設立：2009年11月30日
URL：<http://www.jbcchd.co.jp/jbcn/>



JBCC (Thailand) Co., Ltd.

代表取締役社長：磯野 章一
社員数：13名 / 設立：2010年7月13日
URL：<http://www.jbcchd.co.jp/jbth/>



JBSG PTE. LTD.

代表取締役社長：磯野 章一
社員数：2名 / 設立：2013年1月30日
URL：<http://www.jbcchd.co.jp/jbsg/>



業務システム開発・保守を提供

システム開発経験豊富な中国人技術者による、お客様先での保守開発やオフショア・ラボ開発を、低価格、高生産性で提供しています。

JBパートナーソリューション株式会社

代表取締役社長：市川 国昭
社員数：13名 / 設立：2010年2月22日
URL：<http://www.jbps.co.jp/>



製品開発製造

オリジナルソリューションを開発・提供

コンピューター開発・製造の経験とノウハウを活かし、オリジナルソリューション(生産管理/販売管理パッケージ、データ活用・アプリケーション連携クラウド基盤)、各種ハードウェアを提供しています。

JBアドバンス・テクノロジー株式会社

代表取締役社長：藤岡 英二
社員数：207名 / 設立：1991年10月
URL：<http://www.jbat.co.jp/>



シェアード・サービス

JBグループ各社のスタッフ業務を推進

人事・総務、経理・財務、情報システム、業務サービスなどのスタッフ業務をJBグループ各社に提供しています。また、JBCCホールディングスのコーポレートスタッフとしてグループ全体の統制管理を支援しています。

C&Cビジネスサービス株式会社

代表取締役社長：後藤 浩
社員数：136名 / 設立：2002年4月1日
URL：<http://www.ccbcs.co.jp/>

